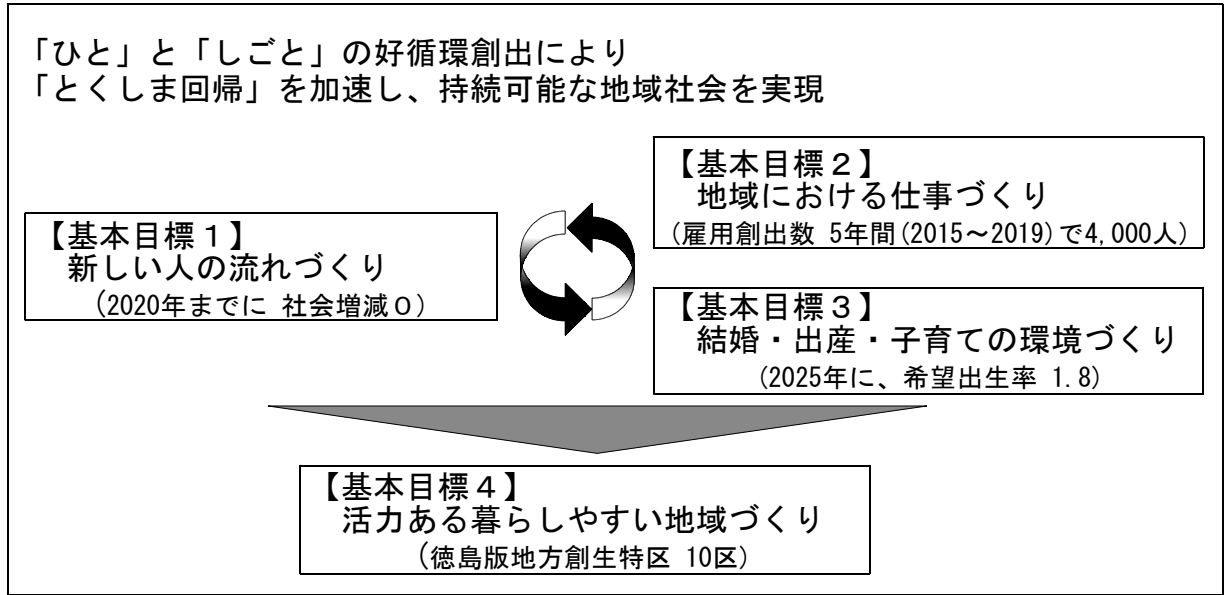


「新たな総合戦略（2020～2024）」

1 現行総合戦略

○ 4つの基本目標と戦略の概念



☆国：「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」

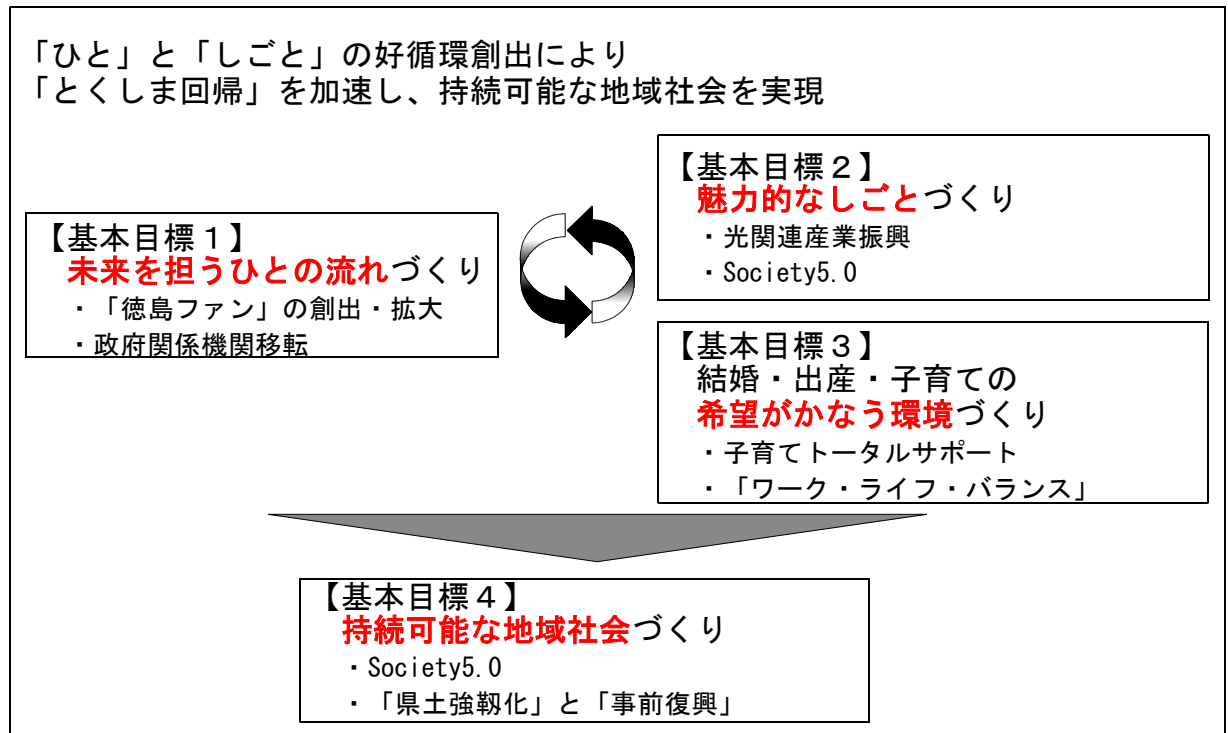
4つの基本目標は第1期戦略の枠組みを維持しつつ必要な強化

2 新たな総合戦略

○ 基本事項

- ・SDGsの理念に沿った取組みの推進
- ・Society5.0の実現推進
- ・県内外の若者や外国人など多様な意見を反映

○ 4つの基本目標と戦略の概念



・基本目標に係る数値目標は「新たな人口ビジョン」などを踏まえ設定

v s 東京『とくしま回帰』総合戦略（第1期総合戦略）

○基本目標

【基本目標1】 新しい人の流れづくり

【目標】 2020年までに、転入転出者数を均衡（社会増減0）

- (ア) 住みたい・働きたい「とくしま回帰」の加速
 - ① 移住交流の推進・「徳島ファン」の創出・拡大
 - ② 多様な人材環流
 - ③ 農林水産業にチャレンジする新規就業者の拡大
- (イ) 「とくしま回帰」を呼び込む拠点機能の強化
 - ① 企業の本社機能の誘致
 - ② 政府関係機関の地方移転を推進
 - ③ サテライトオフィスのさらなる展開
- (ウ) 若者の「とくしま回帰」を生み出す大学等の活性化
 - ① 大学と地域の連携による「知のフィールド」の拡大
 - ② 若者の地元定着促進

【基本目標2】 地域における仕事づくり

【目標】 総合戦略による雇用創出数 5年間で4,000人

- (ア) 地域産業の未来に向けた競争力の強化
 - ① 「2つの光+α」がリードする地域イノベーションの加速
 - ② 企業の成長ステージに応じた切れ目のない支援
 - ③ もうかる農林水産業の推進
 - ④ 6次産業化・とくしまブランド海外展開の推進
- (イ) 戦略的な観光誘客の推進
 - ① 「訪日外国人4000万人時代」に向けた取組み
 - ② 「ひと」が集う大規模イベントの拡大
- (ウ) 地域産業の飛躍を支える人づくり
 - ① 次代を支え未来を拓く産業人材の育成
 - ② 地域を支える産業人材の育成

【基本目標3】 結婚・出産・子育ての環境づくり

【目標】 概ね10年後の2025年に、結婚や出産に関する希望が叶う場合の出生率（希望出生率）1.8を目指す。 ※結婚や出産については、個人の考え方や価値観が尊重されることが大前提であり、この目標は個人に対するものではない。

- (ア) ライフステージに応じた切れ目のない支援の強化
 - ① 若い世代の結婚の希望をかなえる
 - ② 出産・子育てを応援する
 - ③ 世代を超え地域で支える子育て社会の実現
- (イ) 若い世代の正規雇用のさらなる拡大
- (ウ) 仕事と子育てが両立する働き方の実現
 - ① テレワーク導入による新たな働き方の「とくしまモデル」創出
 - ② 子育てしやすい職場環境づくり

【基本目標4】 活力ある暮らしやすい地域づくり

【目標】 徳島版地方創生特区 10区

- (ア) 課題解決先進地域づくりの加速
 - ① 市町村の課題解決支援
 - ② 「知恵は地方にあり」の具現化
- (イ) 多様な人材が輝く地域づくりの加速
 - ① 女性の活躍を加速
 - ② 元気な高齢者が活躍する「生涯現役社会」の実現
 - ③ 若者の自己実現を応援
 - ④ 障がい者が支える社会へ
 - ⑤ 外国人も住みやすい多文化共生のまちづくり
- (ウ) 時代に合ったふるさとづくりの加速
 - ① 多世代交流・多機能型拠点の形成
 - ② 持続可能なまちづくりの推進
 - ③ ネットワーク強化による地域の連携
 - ④ 誇りと愛着を育むふるさとづくり
- (エ) 安心して暮らせる地域づくりの加速
 - ① 健康で心豊かな暮らしの充実
 - ② 暮らし安心の実現
 - ③ 地域防災力の向上
 - ④ 徳島発！「脱炭素社会」づくりの推進
 - ⑤ エネルギーの地産地消と未来エネルギーの導入
 - ⑥ 既存ストック活用先進県の新展開
- (オ) 地域間連携の進化
 - ① 関西広域連合等における広域課題の解決
 - ② 「四国新幹線」実現によるリダンダンシーの確保

「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」

○4つの基本目標（第1期）

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

○第2期の枠組

第1期での地方創生について、「継続を力」にし、より一層充実・強化
<4つの基本目標>

- ◆ **従来の枠組を維持しつつ、必要な強化**
 - ◆ 「人材を育て活かす」「誰もが活躍する地域社会をつくる」観点を追加
 - ◆ **新たな視点に重点をおいて施策を推進**
- <地方創生版・三本の矢>
- ◆ 従来の枠組を維持
 - ◆ **地方創生関係交付金については、必要な見直しを実施**

○第2期における新たな視点

- (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する
 - ◆ 将来的な地方移住にもつながる「**関係人口**」の創出・拡大。
 - ◆ 企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化。
- (2) 新しい時代の流れを力にする
 - ◆ **Society5.0**の実現に向けた技術の活用。
 - ◆ **SDGs**を原動力とした地方創生。
 - ◆ 「地方から世界へ」。
- (3) **人材を育て活かす**
 - ◆ 地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援。
- (4) **民間と協働**する
 - ◆ 地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携。
- (5) **誰もが活躍できる地域社会**をつくる
 - ◆ 女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。
- (6) 地域経営の視点で取り組む
 - ◆ **地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。**

○2020年度における各分野の主要な取組

1. 地方にしごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす
 - ・ 「地域人材支援戦略パッケージ」等による人材の地域展開
 - ・ 新たなビジネスモデルの構築等による地域経済の発展
 - ・ 「**海外から稼ぐ**」地方創生
 - ・ 地方創生を担う組織との協働
 - ・ **高等学校・大学等における人材育成**
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
 - ・ 地方への企業の本社機能移転の強化
 - ・ **企業版ふるさと納税の活用**促進による民間資金の地方還流
 - ・ 政府関係機関の地方移転
 - ・ 「**関係人口**」の創出・拡大
 - ・ 地方公共団体への民間人材派遣
 - ・ 地方の暮らしの情報発信の強化
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる
 - ・ 個々人の希望をかなえる少子化対策
 - ・ **女性、高齢者、障害者、外国人等が共生するまちづくり**
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
 - ・ 交流を支え、生み出す地域づくり
 - ・ マネジメントによる高付加価値化
 - ・ **Society5.0**の実現に向けた技術の活用
 - ・ スポーツ・健康まちづくりの推進
5. 連携施策等
 - ・ 地方創生に向けた国家戦略特区制度等の推進
 - ・ 東日本大震災の被災地域における地方創生の加速化
 - ・ 規制改革、地方分権改革との連携
 - ・ **国土強靱化**等との連携

『未知への挑戦』とくしま行動計画

1 未来へ雄飛！「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

- 1 移住交流拡大！深化する地方創生
- 2 学び直しを支援！「リカレント教育」本格展開
- 3 人生100年時代！健康寿命延伸へ「フレイル対策」展開
- 4 県民総自己実現！「ダイバーシティとくしま」の推進
- 5 次代へつなぐ！少子化対策の推進

2 未来へ加速！「強靱とくしま・安全安心」の実装

- 1 未知なる災害を迎え撃つ！「事前復興」の推進
- 2 国土強靱化を牽引！「災害列島」から「安全安心列島」へ
- 3 「命」と「健康」を守る！地域医療提供体制の充実強化
- 4 みんなで守り育てる！「安全安心な地域づくり」の推進
- 5 野生鳥獣との共生！適正な関係構築と利活用の推進

3 未来へ挑戦！「発展とくしま・革新創造」の実装

- 1 全国を先導！第4次産業革命の実装
- 2 千載一遇！攻めのインバウンド誘客
- 3 世界へ雄飛！進化する徳島ブランドの展開
- 4 世界スタンダード！徳島未来教育の創造
- 5 ポスト東京オリパラ！経済好循環へ

4 未来へ発信！「躍動とくしま・感動宝島」の実装

- 1 世界に誇る！「あわ文化」の創造と継承
- 2 世界へ飛躍！「スポーツ王国とくしま」新次元の進化
- 3 目指すは世界標準！「スポーツレガシー」の創造と継承
- 4 共生社会の実現！障がい者スポーツ・芸術文化の深化
- 5 新次元！文化スポーツ施設「グレードアップ戦略」の展開

5 未来へ継承！「循環とくしま・持続社会」の実装

- 1 脱炭素社会実現へ！「緩和策」と「適応策」の推進
- 2 新時代を先導！再生可能エネルギーの社会実装
- 3 自然との共生！「生物多様性とくしま戦略」の展開
- 4 徳島発！持続可能な行政手法の発信
- 5 近未来とくしま！「東京オリパラ」から「大阪・関西万博」へ

まち・ひと・しごと創生基本方針2019について

令和元年 6月

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
内閣府地方創生推進事務局

第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けて



第2期「総合戦略」策定に関する有識者会議(増田寛也座長)において第1期の検証と第2期に向けた取組を取りまとめ

まち・ひと・しごと創生基本方針2019

◎基本方針の枠組

- ①第2期(2020年度~2024年度)の基本的な考え方
- ②第2期の初年度(2020年度)に取り組む主な事項

◎スケジュール

- 6/21: 基本方針2019策定
- 12月: 第2期「総合戦略」策定

※12月に示す国の第2期「総合戦略」に基づき、地方公共団体は、地方版総合戦略を策定

第2期の方向性

第1期(2015年度～2019年度)の枠組

国

2014年12月策定

長期ビジョン

:2060年に1億人程度の人口を維持する中長期展望を提示

総合戦略

:第1期の政策目標・施策を策定

地方

全ての都道府県、1,740市区町村において策定済み

地方人口ビジョン

:各地域の人口動向、将来人口推計の分析や中長期の将来展望を提示

地方版総合戦略

:各地域の人口動向や産業実態等を踏まえ、第1期の政策目標・施策を策定

4つの基本目標と地方創生版・三本の矢

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、
安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【地方創生版・三本の矢】情報支援、人材支援、財政支援

第2期(2020年度～2024年度)の枠組

第1期での地方創生について、「**継続を力**」にし、より一層充実・強化

(国のビジョン・総合戦略)

◆**年内に改訂**(ビジョンについては、大きな変更なし)

(地方のビジョン・総合戦略)

◆国のビジョン・総合戦略を踏まえ、切れ目なく改訂

4つの基本目標と地方創生版・三本の矢

<4つの基本目標>

◆従来の**枠組を維持**しつつ、**必要な強化**

・「地方への新しいひとの流れをつくる」の取組の強化

・「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について、子ども・子育て本部等と連携

◆「**人材を育て活かす**」「**誰もが活躍する地域社会をつくる**」観点を追加

◆**新たな視点に重点**をおいて施策を推進

・新しい時代の流れを力にする(Society5.0等)、人材を育て活かす等

<地方創生版・三本の矢>

◆従来の**枠組を維持**

◆**地方創生関係交付金**については、**必要な見直し**を実施

2

第2期における新たな視点

第2期(2020年度～2024年度)においては、4つの基本目標に向けた取組を実施するに当たり、新たな次の視点に重点を置いて施策を推進する。

(1) 地方へのひと・資金の流れを強化する

- ◆将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大。
- ◆企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化。

(2) 新しい時代の流れを力にする

- ◆Society5.0の実現に向けた技術の活用。
- ◆SDGsを原動力とした地方創生。
- ◆「地方から世界へ」。

(3) 人材を育て活かす

- ◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援。

(4) 民間と協働する

- ◆地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携。

(5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ◆女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。

(6) 地域経営の視点で取り組む

- ◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。

3

